

\*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式/インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	ダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、当社円換算ベース）をベンチマークとし、NYダウ30インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の株式に実質的に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。	
主運用対象	ベビーファンド	NYダウ30インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の株式を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時（原則として2月21日。同日が休業日に該当する場合は翌営業日となります。）に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ※＜分配金再投資（累積投資）コース＞の場合、税引き後の分配金は、自動的に無手数料で再投資されます。	

# 運用報告書（全体版）

第3期

（決算日 2023年2月21日）

## NZAM・ベータ NYダウ30

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「NZAM・ベータ NYダウ30」は去る2月21日に第3期の決算を行いましたので、期中の運用状況等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用状況に関する問い合わせ窓口  
（フリーダイヤル）0120-439-244

<受付時間> 営業日の午前9時から午後5時まで  
<https://www.ja-asset.co.jp/>

 **NZAM**

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社  
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-5

## ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		騰落率 差異 状況	ドル／円		株式 組入 比率	株式 先物 比率	投資信託 証券 組入 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率		期中 騰落率					
(設定日) 2020年3月12日	円 10,000	円 -	% -	4,362,332.18	% -	% -	円 104.60	% -	% -	% -	% -	百万円 300
1期(2021年2月22日)	15,073	0	50.7	6,593,091.33	51.1	△0.4	105.50	0.9	95.9	3.3	-	496
2期(2022年2月21日)	17,967	0	19.2	7,882,538.38	19.6	△0.4	115.06	9.1	95.9	3.1	-	626
3期(2023年2月21日)	21,121	0	17.6	9,269,592.85	17.6	△0.0	134.32	16.7	94.4	5.0	-	918

(注1) 設定日の基準価額及び純資産総額は設定当初の金額です(以下同じ)。

(注2) 分配金があった場合、基準価額の期中騰落率は分配金込みです。

(注3) ベンチマークは、ダウ・ジョーンズ工業株価平均(配当込み、当社円換算ベース)です。なお、当ファンドの基準価額は組入有価証券の前営業日の時価を基に計算されることから、ダウ・ジョーンズ工業株価平均(ドルベース)は、前日の値を採用しております(以下同じ)。

(注4) 騰落率差異状況=基準価額期中騰落率-ベンチマーク期中騰落率

(注5) 当ファンドは、マザーファンドを組入れますので、組入比率、先物比率(=買建比率-売建比率)は、実質組入比率を記載しております(以下同じ)。

(注6) 設定日のダウ・ジョーンズ工業株価平均(配当込み、当社円換算ベース)の値は、設定日翌日を基準として算出しております(以下同じ)。

## ■当期中の基準価額と市況推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		騰落率 差異 状況	ドル／円		株式 組入 比率	株式 先物 比率	投資信託 証券 組入 比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率						
(期首) 2022年2月21日	円 17,967	% -	7,882,538.38	% -	% -	円 115.06	% -	% 95.9	% 3.1	% -
2月末	18,038	0.4	7,913,188.30	0.4	0.0	115.55	0.4	95.9	3.1	-
3月末	19,772	10.0	8,681,076.13	10.1	△0.1	122.39	6.4	95.7	3.1	-
4月末	19,693	9.6	8,645,350.91	9.7	△0.1	128.86	12.0	95.4	3.7	-
5月末	19,579	9.0	8,593,547.75	9.0	△0.0	128.21	11.4	95.4	3.6	-
6月末	19,539	8.7	8,570,435.42	8.7	0.0	136.68	18.8	95.9	3.1	-
7月末	20,178	12.3	8,854,802.98	12.3	△0.0	134.61	17.0	96.2	3.0	-
8月末	20,346	13.2	8,926,854.87	13.2	△0.0	138.63	20.5	93.0	5.9	-
9月末	19,576	9.0	8,584,643.05	8.9	0.0	144.81	25.9	96.3	2.9	-
10月末	22,525	25.4	9,889,691.87	25.5	△0.1	148.26	28.9	93.6	5.6	-
11月末	21,772	21.2	9,557,933.50	21.3	△0.1	138.87	20.7	96.6	2.7	-
12月末	20,453	13.8	8,975,548.22	13.9	△0.0	132.70	15.3	94.1	5.3	-
2023年1月末	20,418	13.6	8,962,375.43	13.7	△0.1	130.47	13.4	96.9	2.5	-
(期末) 2023年2月21日	21,121	17.6	9,269,592.85	17.6	△0.0	134.32	16.7	94.4	5.0	-

(注1) 分配金があった場合、期末基準価額は分配金込みです。

(注2) 騰落率は期首比です。

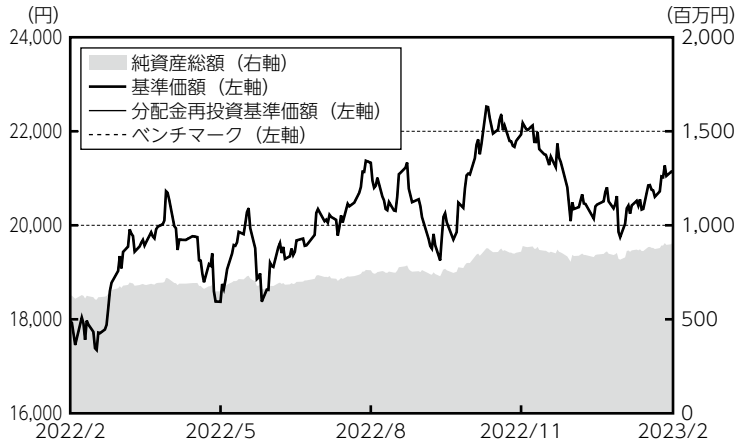
(注3) 騰落率差異状況=基準価額騰落率-ベンチマーク騰落率

ダウ・ジョーンズ工業株価平均(以下「当インデックス」といいます。)はS&P Dow Jones Indices LLC(「SPDJ」)の商品であり、これを利用するライセンスが農林中金全共連アセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC(「S&P」)の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが農林中金全共連アセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

## 《運用経過》

【当期中の基準価額等の推移について】

(第3期：2022年2月22日～2023年2月21日)



第3期首 : 17,967円  
第3期末 : 21,121円  
(既払分配金 0円)  
騰落率 : 17.6%  
(分配金再投資ベース)

- ・ベンチマークは、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、当社円換算ベース）です。  
なお、当ファンドの基準価額は組入有価証券の前営業日の時価を基に計算されることから、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（ドルベース）は、前日の値を採用しております（以下同じ）。
- ・ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- ・分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

### 【基準価額の主な変動要因】

基準価額は、期首17,967円で始まり、期末21,121円となり、騰落率は17.6%の上昇となりました。

#### □プラス要因

米国10年国債利回り（以下「米国長期金利」という）の上昇に伴って日米金利差が拡大し、為替市場において円安・ドル高が進行したことが、基準価額の上昇要因となりました。

## 【投資環境について】

(第3期：2022年2月22日～2023年2月21日)

ダウ・ジョーンズ工業株価平均(配当込み、当社円換算ベース)は、期を通じて上昇しました。期首は、ロシアのウクライナ侵攻を受けたリスクオフにより下落しましたが、3月になると、金融政策に関する不透明感が一時的に後退したことや、原油価格の高騰が収まったことなどから反発し、上昇に転じました。4月から6月にかけては、高いインフレ率を受けて大幅な利上げが行われるとの見方が強くなり、情報技術などのグロース銘柄(業績拡大が期待される銘柄)を中心に売られました。為替が円安に振れたことにより横ばいとなりました。7月から9月は、米国長期金利が一時低下したことなどを受け、売り込まれていたグロース銘柄を買い戻す動きも見られましたが、ジャクソンホール会議にてパウエル米連邦準備制度理事会(以下「FRB」という)議長がインフレ抑制のため利上げを継続する方針を示すと軟調となり、横ばいとなりました。10月から11月にかけては、物価指標などからインフレが減速しつつある兆候が見られたことで上昇しました。12月になると、米連邦公開市場委員会(FOMC)において金融引き締めを継続する姿勢が改めて示されたことや、中国における新型コロナウイルス感染拡大により経済への悪影響が懸念されたことなどから下落しましたが、1月から期末にかけては、物価上昇ペースの鈍化が確認されたことにより、反発しました。

為替市場では、期を通じて円安・ドル高となりました。3月から10月にかけてはFRBによる大幅な利上げを背景に、米国長期金利が上昇したことで急速に円安が進行しました。11月から期末にかけては、インフレが減速しつつある兆候が確認され、米国長期金利がやや低下したことから、円高になりました。

## 【ポートフォリオについて】

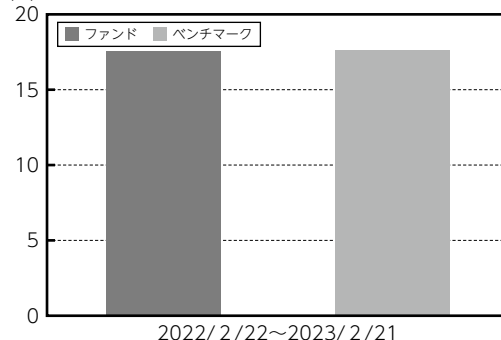
当ファンドは、ダウ・ジョーンズ工業株価平均(配当込み、当社円換算ベース)をベンチマークとし、NYダウ30インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の株式に実質的に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

前述のような投資環境のもと、当期におきましては、マザーファンドに概ね100%投資しました。マザーファンドにおける運用では、ダウ・ジョーンズ工業株価平均採用銘柄を主要投資対象とし、ダウ・ジョーンズ工業株価平均(配当込み、当社円換算ベース)の動きに連動するようにポートフォリオを構築しました。当期末の銘柄構成は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均と同様になっております。株式組入比率につきましては、ダウ・ジョーンズ工業株価平均先物を活用しながら、期を通して実質的に概ね高位な組入比率を維持しました。

## 【ベンチマークとの差異要因について】

ベンチマークであるダウ・ジョーンズ工業株価平均(配当込み、当社円換算ベース)との比較では、ベンチマークの騰落率+17.6%に対して、同程度となりました。

(%) 基準価額とベンチマークの対比(騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

## 【分配金について】

収益分配金につきましては、信託財産の成長を優先するため、見送らせていただきました。

なお、収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し元本と同様の運用を行っております。

### ■分配原資の内訳 (1万口当たり、税込み)

項 目	第3期 2022年2月22日 ～2023年2月21日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率：%)	—
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	11,120

(注1) 「対基準価額比率」は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注3) 分配金は、決算日から起算して5営業日までに販売会社より支払いが開始されます。

(注4) 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金(特別分配金)に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金(特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。

(注5) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

分配が行われた場合、<分配金再投資(累積投資)コース>をご利用の方は、税引き後の分配金が各決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資されます。

## 《今後の運用方針》

引き続きマザーファンドへの投資割合を高位に保ち運用を行います。また、マザーファンドにおける運用は、米国株式の投資割合(先物含む)を高位に保ち、銘柄毎の投資ウェイトはダウ・ジョーンズ工業株価平均における構成比率と同水準となるよう努め、ダウ・ジョーンズ工業株価平均(配当込み、当社円換算ベース)との連動性を高めるよう運用を行います。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2022年2月22日 ～2023年2月21日		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	47 (24) (18) ( 4)	0.231 (0.121) (0.088) (0.022)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 投信会社によるファンドの運用の対価 分配・換金・償還金の支払、運用報告書の送付、口座管理等に係る費用 受託会社によるファンド運用財産の保管、管理、運用指図実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	1 ( 1) ( 0)	0.007 (0.005) (0.001)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等を売買する際に売買仲介人に支払う手数料 先物・オプションを取引する際に売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式)	0 ( 0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の売買の都度発生する取引に係る税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	24 (23) ( 1) ( 0)	0.117 (0.112) (0.003) (0.001)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務に係る諸費用
合 計	72	0.355	
期中の平均基準価額は、20,157円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

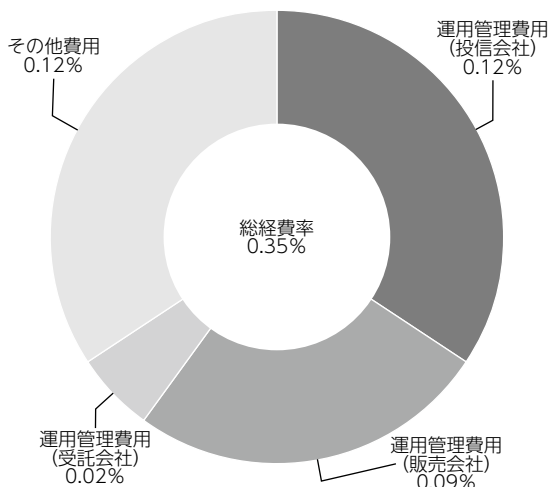
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.35%です。



- (注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。  
 (注3) 各比率は、年率換算した値です。  
 (注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買及び取引の状況 (2022年2月22日から2023年2月21日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
NYダウ30インデックス・マザーファンド	千口 125,844	千円 259,058	千口 41,280	千円 83,024

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ベビーファンド	マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	-千円	205,951千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	-千円	721,286千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)/(b)	-	0.28

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ■利害関係人との取引状況等（2022年2月22日から2023年2月21日まで）

当期における当ファンド及びマザーファンドに係る利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

該当事項はありません。

## ■組入資産の明細

親投資信託残高

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
NYダウ30インデックス・マザーファンド	千円 346,870	千円 431,434	千円 917,789

## ■投資信託財産の構成

2023年2月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
NYダウ30インデックス・マザーファンド	千円 917,789	% 99.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,586	0.3
投 資 信 託 財 産 総 額	920,375	100.0

（注1）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお、2023年2月21日における邦貨換算レートは1ドル=134.32円です。

（注2）マザーファンドの外貨建資産（895,213千円）の投資信託財産総額に対する比率は97.3%です。



## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年2月21日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	920,375,328円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	577,999
NYダウ30インデックス・マザーファンド(評価額)	917,789,612
未 収 入 金	2,007,717
(B)負 債	1,938,154
未 払 解 約 金	957,717
未 払 信 託 報 酬	955,617
そ の 他 未 払 費 用	24,820
(C)純 資 産 総 額(A-B)	918,437,174
元 本	434,850,753
次 期 繰 越 損 益 金	483,586,421
(D)受 益 権 総 口 数	434,850,753口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	21,121円

### <注記事項>

当ファンドの期首元本額は348,866,598円、期中追加設定元本額は126,640,238円、期中一部解約元本額は40,656,083円です。

### <第3期分配金の計算過程>

計算期間末における費用控除後の配当等収益(13,498,807円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(92,943,456円)、信託約款に規定される収益調整金(188,887,626円)及び分配準備積立金(188,256,532円)より分配対象収益は483,586,421円(1万口当たり11,120.74円)となりますが、基準価額水準、市況動向等を勘案し分配は行っておりません。

## ■分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

(注1) 分配金は、決算日から起算して5営業日までに販売会社より支払いが開始されます。

(注2) 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金(特別分配金)に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金(特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。

(注3) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

分配が行われた場合、<分配金再投資(累積投資)コース>をご利用の方は、税引き後の分配金が各決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資されます。

原則として、数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で記載しておりますので、合計欄の値が個別数値の合計と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数で記載する場合があります。

## ■損益の状況

当期 自2022年2月22日 至2023年2月21日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	△ 86円
受 取 利 息	1
支 払 利 息	△ 87
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	108,212,680
売 買 益	117,762,306
売 買 損	△ 9,549,626
(C)信 託 報 酬 等	△ 1,770,331
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	106,442,263
(E)前 期 繰 越 損 益 金	188,256,532
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	188,887,626
(配 当 等 相 当 額)	( 111,830,728)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 77,056,898)
(G) 計 (D+E+F)	483,586,421
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	483,586,421
追 加 信 託 差 損 益 金	188,887,626
(配 当 等 相 当 額)	( 112,197,127)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 76,690,499)
分 配 準 備 積 立 金	294,698,795

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換え等によるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) (F)追加信託差損益金とは、追加設定した金額と元本との差額です。

# NYダウ30インデックス・マザーファンド

## 運用報告書

《第3期》

決算日：2023年2月21日

(計算期間：2022年2月22日～2023年2月21日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第3期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	ダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、当社円換算ベース）をベンチマークとし、主として米国の株式に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。 株式への投資割合は、原則として高位に保ちます。 ベンチマークとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の投資比率が投資信託財産の純資産総額を超える場合があります。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	米国の株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

運用状況に関する問い合わせ窓口  
(フリーダイヤル) 0120-439-244  
<受付時間> 営業日の午前9時から午後5時まで  
<https://www.ja-asset.co.jp/>

 **NZAM**  
農林中金全共連アセットマネジメント株式会社  
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-5

## ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		騰落率 差異 状況	ドル / 円		株式 組入 比率	株式 先物 比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	円	騰落率	円	騰落率		円	騰落率				
(設定日) 2020年3月12日	10,000	—	4,362,332.18	—	—	104.60	—	—	—	—	百万円 299
1期 (2021年2月22日)	15,109	51.1	6,593,091.33	51.1	△0.0	105.50	0.9	96.0	3.3	—	495
2期 (2022年2月21日)	18,054	19.5	7,882,538.38	19.6	△0.1	115.06	9.1	96.0	3.1	—	626
3期 (2023年2月21日)	21,273	17.8	9,269,592.85	17.6	0.2	134.32	16.7	94.5	5.0	—	917

(注1) 設定日の基準価額及び純資産総額は設定当初の金額です (以下同じ)。

(注2) ベンチマークは、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (配当込み、当社円換算ベース) です。なお、当ファンドの基準価額は組入保有証券の前営業日の時価を基に計算されることから、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (ドルベース) は、前日の値を採用しております。(以下同じ)。

(注3) 騰落率差異状況=基準価額期中騰落率-ベンチマーク期中騰落率

(注4) 株式先物比率=買建比率-売建比率 (以下同じ)

(注5) 設定日のダウ・ジョーンズ工業株価平均 (配当込み、当社円換算ベース) の値は、設定日翌日を基準として算出しております (以下同じ)。

## ■当期中の基準価額と市況推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		騰落率 差異 状況	ドル / 円		株式 組入 比率	株式 先物 比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰落率	円	騰落率		円	騰落率			
(期首) 2022年2月21日	18,054	—	7,882,538.38	—	—	115.06	—	96.0	3.1	—
2月末	18,126	0.4	7,913,188.30	0.4	0.0	115.55	0.4	96.0	3.1	—
3月末	19,874	10.1	8,681,076.13	10.1	△0.0	122.39	6.4	95.7	3.1	—
4月末	19,798	9.7	8,645,350.91	9.7	△0.0	128.86	12.0	95.4	3.7	—
5月末	19,687	9.0	8,593,547.75	9.0	0.0	128.21	11.4	95.5	3.6	—
6月末	19,651	8.8	8,570,435.42	8.7	0.1	136.68	18.8	95.9	3.1	—
7月末	20,297	12.4	8,854,802.98	12.3	0.1	134.61	17.0	96.2	3.0	—
8月末	20,470	13.4	8,926,854.87	13.2	0.1	138.63	20.5	93.1	5.9	—
9月末	19,698	9.1	8,584,643.05	8.9	0.2	144.81	25.9	96.3	2.9	—
10月末	22,671	25.6	9,889,691.87	25.5	0.1	148.26	28.9	93.6	5.6	—
11月末	21,918	21.4	9,557,933.50	21.3	0.1	138.87	20.7	96.6	2.7	—
12月末	20,594	14.1	8,975,548.22	13.9	0.2	132.70	15.3	94.1	5.3	—
2023年1月末	20,563	13.9	8,962,375.43	13.7	0.2	130.47	13.4	96.9	2.5	—
(期末) 2023年2月21日	21,273	17.8	9,269,592.85	17.6	0.2	134.32	16.7	94.5	5.0	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 騰落率差異状況=基準価額騰落率-ベンチマーク騰落率

ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (以下「当インデックス」といいます。) はS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJII」) の商品であり、これを利用するライセンスが農林中金全共連アセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S&P」) の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが農林中金全共連アセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJII、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

## 《運用経過》

【当期中の基準価額等の推移について】

(第3期：2022年2月22日～2023年2月21日)



### 【基準価額の主な変動要因】

基準価額は、期首18,054円で始まり、期末21,273円となり、騰落率は17.8%の上昇となりました。

#### □プラス要因

米国10年国債利回り（以下「米国長期金利」という）の上昇に伴って日米金利差が拡大し、為替市場において円安・ドル高が進行したことが、基準価額の上昇要因となりました。

### 【投資環境について】

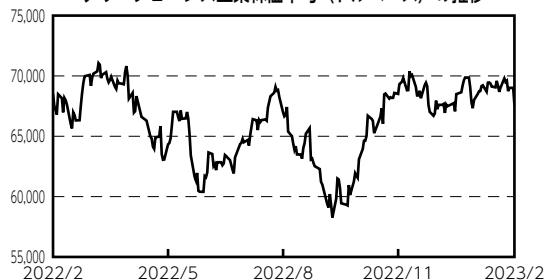
ダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、当社円換算ベース）は、期を通じて上昇しました。期首は、ロシアのウクライナ侵攻を受けたリスクオフにより下落しましたが、3月になると、金融政策に関する不透明感が一時的に後退したことや、原油価格の高騰が収まったことなどから反発し、上昇に転じました。4月から6月にかけては、高いインフレ率を受けて大幅な利上げが行われるとの見方が強くなり、情報技術などのグロース銘柄（業績拡大が期待される銘柄）を中心に売られました。7月から9月は、米国長期金利が一時低下したことなどをを受け、売り込まれていたグロース銘柄を買い戻す動きも見られましたが、ジャクソンホール会議にてパウエル米連邦準備制



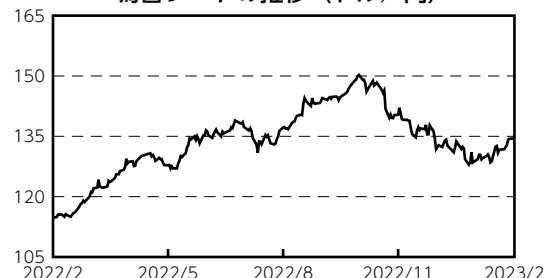
度理事会（以下「FRB」という）議長がインフレ抑制のため利上げを継続する方針を示すと軟調となり、横ばいとなりました。10月から11月にかけては、物価指標などからインフレが減速しつつある兆候が見られたことで上昇しました。12月になると、米連邦公開市場委員会（FOMC）において金融引き締めを継続する姿勢が改めて示されたことや、中国における新型肺炎感染拡大により経済への悪影響が懸念されたことなどから下落しましたが、1月から期末にかけては、物価上昇ペースの鈍化が確認されたことにより、反発しました。

為替市場では、期を通じて円安・ドル高となりました。3月から10月にかけてはFRBによる大幅な利上げを背景に、米国長期金利が上昇したことで急速に円安が進行しました。11月から期末にかけては、インフレが減速しつつある兆候が確認され、米国長期金利がやや低下したことから、円高になりました。

(ポイント) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (ドルベース) の推移



(円) 為替レートの推移 (ドル/円)



### 【ポートフォリオについて】

当ファンドは、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、当社円換算ベース）をベンチマークとし、主として米国の株式に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

当期は前述のような投資環境のもと、以下のような運用を行いました。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均採用銘柄を主要投資対象とし、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、当社円換算ベース）の動きに連動するようにポートフォリオを構築しました。当期末の銘柄構成は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均と同様になっております。

株式組入比率につきましては、ダウ・ジョーンズ工業株価平均先物を活用しながら、期を通して実質的に概ね高位な組入比率を維持しました。

### 【ベンチマークとの差異要因について】

ベンチマークであるダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、当社円換算ベース）との比較では、ベンチマークの騰落率+17.6%に対して、0.2%上回りました。主に、配当要因等がプラスに寄与しました。

## 《今後の運用方針》

今後の運用につきましては、引き続き米国株式の投資割合（先物含む）を概ね98%以上に保ち、銘柄毎の投資ウェイトはダウ・ジョーンズ工業株価平均における構成比率と同水準となるよう努め、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（配当込み、当社円換算ベース）との連動性を高めるよう運用を行います。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2022年2月22日 ～2023年2月21日		項目の概要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	1 (1) (0)	0.007 (0.005) (0.001)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等を売買する際に売買仲介人に支払う手数料 先物・オプションを取引する際に売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の売買の都度発生する取引に係る税金
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	23 (23) (0)	0.113 (0.112) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 信託事務に係る諸費用
合 計	24	0.120	

期中の平均基準価額は、20,278円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

## ■ 売買及び取引の状況（2022年2月22日から2023年2月21日まで）

### (1) 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	ア メ リ カ	百株 83	千ドル 1,368	百株 9	千ドル 140

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

### (2) 先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	株 式 先 物 取 引	百万円 249	百万円 226	百万円 -	百万円 -

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	205,951千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	721,286千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)÷(b)	0.28

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ■主要な売買銘柄 株式

当 期				期			
買 付		期		売 付		期	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
UNITEDHEALTH GROUP INC(アメリカ)	0.278	19,195	69,048	UNITEDHEALTH GROUP INC(アメリカ)	0.03	1,995	66,502
GOLDMAN SACHS GROUP INC(アメリカ)	0.278	12,951	46,587	GOLDMAN SACHS GROUP INC(アメリカ)	0.03	1,229	40,996
HOME DEPOT INC(アメリカ)	0.278	11,418	41,074	HOME DEPOT INC(アメリカ)	0.03	1,158	38,609
MCDONALD'S CORPORATION(アメリカ)	0.278	9,943	35,766	MICROSOFT CORP(アメリカ)	0.03	1,039	34,643
AMGEN INC(アメリカ)	0.278	9,791	35,219	MCDONALD'S CORPORATION(アメリカ)	0.03	999	33,311
MICROSOFT CORP(アメリカ)	0.278	9,386	33,764	AMGEN INC(アメリカ)	0.03	976	32,546
CATERPILLAR INC(アメリカ)	0.278	8,153	29,327	VISA INC-CLASS A SHARES(アメリカ)	0.03	807	26,913
VISA INC-CLASS A SHARES(アメリカ)	0.278	7,820	28,129	CATERPILLAR INC(アメリカ)	0.03	776	25,886
HONEYWELL INTERNATIONAL INC(アメリカ)	0.278	7,483	26,918	HONEYWELL INTERNATIONAL INC(アメリカ)	0.03	739	24,639
TRAVELERS COS INC/THE(アメリカ)	0.278	6,678	24,025	JOHNSON & JOHNSON(アメリカ)	0.03	698	23,270

(注) 金額は受渡し代金で、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

## ■利害関係人との取引状況等（2022年2月22日から2023年2月21日まで）

当期における当ファンドに係る利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

該当事項はありません。

## ■組入資産の明細

### (1) 外国株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(アメリカ)	百株	百株	千ドル	千円		
WALMART INC	10	12	184	24,744	食品・生活必需品小売り	
PROCTER & GAMBLE CO	10	12	176	23,658	家庭用品・パーソナル用品	
INTL BUSINESS MACHINES CORP	10	12	169	22,814	ソフトウェア・サービス	
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	10	12	253	34,034	資本財	
GOLDMAN SACHS GROUP INC	10	12	463	62,267	各種金融	
CHEVRON CORP	10	12	204	27,517	エネルギー	
BOEING CO	10	12	266	35,765	資本財	
CISCO SYSTEMS INC	10	12	63	8,578	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
INTEL CORP	10	12	34	4,665	半導体・半導体製造装置	
MICROSOFT CORP	10	12	324	43,605	ソフトウェア・サービス	
MERCK & CO. INC.	10	12	137	18,506	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
VERIZON COMMUNICATIONS INC	10	12	50	6,796	電気通信サービス	
JP MORGAN CHASE & CO	10	12	178	24,034	銀行	
HOME DEPOT INC	10	12	399	53,725	小売	
JOHNSON & JOHNSON	10	12	201	27,101	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
TRAVELERS COS INC/THE	10	12	233	31,387	保険	
CATERPILLAR INC	10	12	311	41,870	資本財	
NIKE INC -CL B	10	12	157	21,094	耐久消費財・アパレル	
MCDONALD'S CORPORATION	10	12	339	45,621	消費者サービス	
COCA-COLA COMPANY	10	12	75	10,158	食品・飲料・タバコ	
3M CO	10	12	142	19,092	資本財	
AMGEN INC	10	12	302	40,643	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
THE WALT DISNEY CO.	10	12	132	17,779	メディア・娯楽	
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	10	12	46	6,211	食品・生活必需品小売り	
AMERICAN EXPRESS CO	10	12	223	29,959	各種金融	
UNITEDHEALTH GROUP INC	10	12	627	84,331	ヘルスケア機器・サービス	
APPLE INC	10	12	191	25,777	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
SALESFORCE INC	10	12	207	27,909	ソフトウェア・サービス	
VISA INC-CLASS A SHARES	10	12	281	37,775	ソフトウェア・サービス	
DOW INC	10	12	73	9,822	素材	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数<比率>	303 30	377 30	6,456 -	867,251 <94.5%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

### (2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘 柄 別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
外 国	百万円	百万円
E - M I N I D O W	45	-

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。



## ■投資信託財産の構成

2023年2月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 867,251	% 94.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	52,581	5.7
投 資 信 託 財 産 総 額	919,832	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお、2023年2月21日における邦貨換算レートは1ドル=134.32円です。

(注2) 外貨建資産(895,213千円)の投資信託財産総額に対する比率は97.3%です。

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年2月21日現在

項 目	当 期 末
<b>(A)資 産</b>	<b>939,716,370円</b>
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 株 式(評価額)	38,375,888
未 収 入 金	867,251,790
未 収 配 当 金	20,149,519
差 入 委 託 証 拠 金	1,504,800
12,434,373	
<b>(B)負 債</b>	<b>21,907,728</b>
未 払 金	19,900,000
未 払 解 約 金	2,007,717
未 払 利 息	11
<b>(C)純 資 産 総 額(A-B)</b>	<b>917,808,642</b>
元 本	431,434,030
次 期 繰 越 損 益 金	486,374,612
<b>(D)受 益 権 総 口 数</b>	<b>431,434,030口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	21,273円

<注記事項>

- ① 当マザーファンドの期首元本額は346,870,636円、期中追加設定元本額は125,844,303円、期中一部解約元本額は41,280,909円です。
- ② 当マザーファンドを投資対象とする投資元本額の内訳は、以下のとおりです。
- |          |         |              |
|----------|---------|--------------|
| NZAM・ベータ | NYダウ30: | 431,434,030円 |
| 合計:      |         | 431,434,030円 |

## ■損益の状況

当期 自2022年2月22日 至2023年2月21日

項 目	当 期
<b>(A)配 当 等 収 益</b>	<b>14,361,803円</b>
受 取 配 当 金	13,829,238
受 取 利 息	356,762
そ の 他 収 益 金	176,989
支 払 利 息	△ 1,186
<b>(B)有 価 証 券 売 買 損 益</b>	<b>101,529,945</b>
売 買 益	141,264,423
売 買 損	△ 39,734,478
<b>(C)先 物 取 引 等 取 引 損 益</b>	<b>483,082</b>
取 引 益	4,950,632
取 引 損	△ 4,467,550
<b>(D)信 託 報 酬 等</b>	<b>△ 845,901</b>
<b>(E)当 期 損 益 金(A+B+C+D)</b>	<b>115,528,929</b>
<b>(F)前 期 繰 越 損 益 金</b>	<b>279,374,871</b>
<b>(G)追 加 信 託 差 損 益 金</b>	<b>133,214,302</b>
<b>(H)解 約 差 損 益 金</b>	<b>△ 41,743,490</b>
<b>(I) 計 (E+F+G+H)</b>	<b>486,374,612</b>
次 期 繰 越 損 益 金(I)	486,374,612

(注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は、期末の評価換え等によるものを含みます。

(注2) (D)信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) (G)追加信託差損益金とは、追加設定した金額と元本との差額です。

(注4) (H)解約差損益金とは、元本と一部解約時の解約価額との差額です。

原則として、数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で記載しておりますので、合計欄の値が個別数値の合計と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数で記載する場合があります。